

いわき市市制施行50周年記念事業  
『生涯学習フェスティバル』に参加  
(平成29年1月28日(土)29日(日))



いわき市は、昭和41年10月1日に14市町村が大同合併して誕生し、「市制施行50周年」を迎えました。そこで、更なる飛躍・発展に向かい躍動する契機とするため、市制施行50周年を記念して「50の記念事業」を実施しています。

福島県いわき建設事務所では市の記念事業と連携し、津波被災沿岸部の復旧・復興や復興公営住宅の整備における当所の取り組みをより多くの市民に伝えるため、市制施行50周年を記念した事業『生涯学習フェスティバル（主催：いわき市生涯学習プラザ）』に参加しました。

イベントでは、「いわきの復旧・復興進捗状況写真展」として、ドローン撮影による津波被災沿岸部の空撮写真パネルや整備が進む復興公営住宅の完成・建設中の写真などを展示しました。



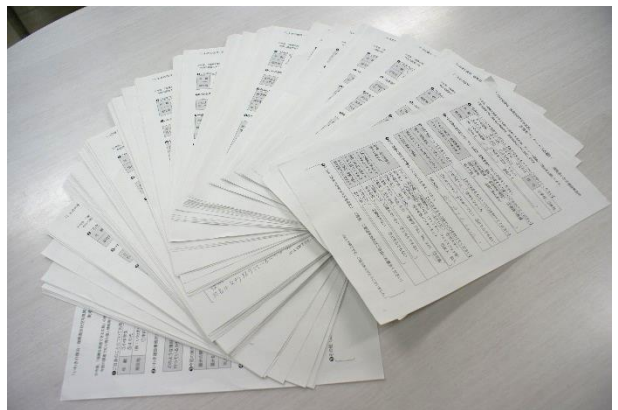
沿岸部を空撮した大判写真パネルでは、多くの市民が関心を持って見ていました。



震災前と比べて変化した沿岸部を見て、立ち止まって、昔を懐かしむ声が聞こえました。



復興公営住宅の整備に関するパネル展示では、造成工事から建物完成までの進捗写真を見て、完成の早さに驚く市民もいました。



復旧・復興に対するアンケートでは、約150人の方から回答を頂きました。今後、広報活動等の参考とさせていただきます。

当所では、今後もいわき市を含む関係機関と協力し、管内の復旧・復興の状況を広く市民に伝える活動に努めてまいります。